

SDG s への取り組み

OUR PRACTICES TO ACHIEVE THE SDGs

2024年度 年間活動報告について



【はじめに】

当社は、2020年3月に「国連グローバル・コンパクト」の理念に賛同し、参加を表明しました。そして、その活動における理念の遵守・実践に向けて、「持続可能な開発目標（SDGs）」を指標とした社内活動を開始しました。2020年度から始めた取り組みは5年目を迎え、各本部における活動により課題達成への深度を深めています。また、2023年3月にSBTiへの参加を表明しました。温室効果ガス削減目標を設定し、2030年に向けて二酸化炭素の排出削減を実施します。【Target】「藤本化学製品(株)は、2021 年を基準として、2030 年までにスコープ 1 およびスコープ 2 の GHG 排出量を42 %削減し、スコープ 3 の排出量を測定し削減することを約束します。」

本報告書は、2024年度4本部門の年間活動目標に基づき作成しました。それぞれの活動については、半期ごとの進捗確認と修正を行い、一年間の活動活性化に繋げています。わが社は、医薬品の安定生産継続と従業員に対する健康増進の充実化を進めていくとともに、SDGsの理念に対して、自分事として我々一人ひとりにとってこの取り組みが「当たり前」となり、より良い職場環境の形成と安定的な企業活動の実施を目指しています。日々の活動における「環境問題への取り組み」や「働き方改革、職場環境の充実」を実現するために、従業員すべての人々の健康や地域社会の安全衛生の確保を踏まえ、さらに地球環境の保護にも配慮した企業活動をめざしていくことが必要と考えます。企業活動を通じて社会貢献を果たすべく、部門ごとに実践目標を立て、それぞれ2024年度の結果と進捗状況について報告します。

藤本化学製品株式会社
ESG推進室
2025年4月28日

2024年度 SDGs 活動目標

目標設定：2024/4/26

ESG推進室

目標3：すべての人に健康と福祉を

事業目標：本業を通じた社会貢献の実施

- ・医薬品原薬の受託製造を通じて、GMP管理のもと、高品質な医薬品を製造し、安定的な供給を通じて、世界に人々の健康に貢献します。

【部門別目標】

生産本部	生産計画・納期の全うと、品質保証体制の維持管理
研究開発本部	医薬品開発を通じた社会貢献の実践
管理本部	法令遵守の徹底、社内活性化
営業本部	原材料安定調達



目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

事業目標：省エネルギー化の推進

- ・エネルギー原単位に基づく、エネルギー消費量の削減を実施します。
- ・温室効果ガスの削減に貢献する設備、機器の導入を推進します。

【部門別目標】

生産本部	ISO14001、省エネ活動を通じた環境対策実践
研究開発本部	環境負荷を低減した医薬品製造への貢献
管理本部	業務プロセスのデジタル化、エコシステムへの変革（DX）
営業本部	営業活動の効率化



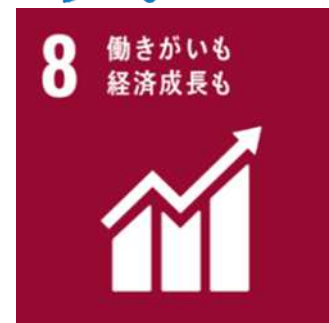
目標8：働きがいも経済成長も

事業目標：事業活動を通じた人権尊重，法令の遵守

- ・働き方改革の推進による社内活性化を実現します。
- ・社内人材の活用、将来を見据えた計画的な人材採用を行います。
- ・サプライチェーン全体でのCSR調達を強化します。

【部門別目標】

生産本部	時間外労働の削減と作業負荷の軽減
研究開発本部	継続的な研修システムの遂行と学会・講習会への参加
管理本部	会社戦略に沿った人材採用、従業員のスキルアップ
営業本部	コミュニケーション力の強化



目標9：産業と技術革新の基盤を作ろう

事業目標：医薬品製造に貢献する技術開発

- ・医薬品のモダリティは多種多様に広がっています。わが社が得意とする低分子医薬だけでなく、核酸医薬やmRNAなど他のモダリティにも貢献できる技術開発を目指します。

【部門別目標】

生産本部	—
研究開発本部	新規技術開発による医薬品製造への貢献
管理本部	—
営業本部	核酸事業の拡大化



目標12：作る責任使う責任

事業目標：リスクマネジメント、危機管理の推進、原材料の使用量削減、
リサイクルの強化、環境にやさしい製造方法の開発。

- ・原材料の安定的な調達を推進し、計画的な製造を行うことにより、エネルギー消費量を削減します。
- ・有害物質の使用量削減や、製品中の有害物質の管理強化をします。
- ・有機溶剤等のリサイクルを推進します。
- ・製造法の改良による、工程や原材料の削減を推進します。

【部門別目標】

生産本部	化学物質関連の法規制対応と廃棄物削減、リサイクル推進
研究開発本部	製造プロセスの最適化検討を通じた取り組みの推進
管理本部	CSR、リスクマネジメントの推進
営業本部	重要原料の複数ソース化と新技術導入に向けた情報収集



目標14：海の豊かさを守ろう

事業目標：工業廃水の管理

- ・活性汚泥処理設備の管理徹底と、大阪湾への処理水の規制値を達成します。
- ・下水道処理への排水管理を徹底します。
- ・高薬理活性施設で使用した、産業廃棄物の処理方法の管理を徹底します。

【部門別目標】

生産本部	KYK使用済み風袋、工業排水管理
研究開発本部	工業排水管理、水質管理の知識修得
管理本部	—
営業本部	産業廃棄物の有効活用



生産本部 実践目標と結果

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考 (製品名等)	年間の進捗	進捗度
泉北工場	製品C及び製品Fの安定生産	計画物量達成	目標3		計画物量達成	100%
	製品S製造、申請工程PVの完遂	PV完遂	目標3		PV完遂	100%
	製品XZの効率的導入	PV完遂	目標3		PV完遂	100%
	クレームの達成	0件	目標3		1件発生(製品パッケージ破損)	0%
	環境に配慮した設備の導入	3件以上	目標7		4件実施	100%
	電気使用量の削減	0.1%削減	目標7		0.1%	100%
	適切な要員計画の立案、採用活動により作業負荷の軽減	稼働率75%以下	目標8		71.2%	100%
	無事故無災害の達成	0件	目標12		0件	100%
	製造工程等の改良によるエネルギーや廃棄物の削減	1件以上	目標12		2件	100%
	高薬理活性設備の使用済み風袋管理の徹底	暴露0件	目標14		暴露0件	100%
	活性汚泥処理日常のトレンド分析による傾向解析と対策の徹底	規制値順守	目標14		規制値順守	100%
金楽工場	製品Pの安定供給	各品目の変更検討実施	目標3		原料DP製造メーカー追加のテスト実施	100%
	調達困難原料の原料メーカー変更検討					
	原料DP製造メーカー追加等					
	製品G安定供給体制の確立	泉北工場への製品G技術移転完遂	目標3		生産物量減のため泉北工場への製品G技術移転は中止	0%
	製品A8増産体制の確立	協力会社Aへの技術支援、生産計画完遂	目標3		協力会社Aへのリワークへの支援完遂	100%
	クレームの達成	0件	目標3		0件	100%
	環境に配慮した設備導入	1件以上	目標7		1件	100%
	電気使用量削減	0.2%削減	目標7		0.2%	100%
	適切な要員計画の立案、採用活動による作業負荷の軽減	稼働率73%以下	目標8		62.3%	100%
	無事故無災害の達成	0件	目標12		0件	100%
	製造工程等の改良によるエネルギーや廃棄物の削減	1件以上	目標12		1件	100%
	日常監視及び週1回の水質試験実施	規制値順守	目標14		規制値順守	100%
経営企画部	工場生産力アップのための設備投資計画の確実な実行	倉敷新工場の基本設計完了、発注、建築確認申請	目標3		基本設計完了、工事発注済み。引き続き実施設計継続中。計画に遅れなし。	100%
	ISO14001,省エネ活動を通じた環境対策実施					
	・ISO14001活動の推進	JQA審査における指摘0	目標7		12月定期審査終了、指摘事項無し。	100%
	・省エネ活動の推進	エネルギー原単位1%減達成	目標7		原単位5年間平均で1%以上達成、Sクラス（優良事業者）	100%
	化学物質関連の法規制対応	化審法、安衛法対応	目標12		追加申し出品目も含め、遅滞なく対応中	100%
品質保証部	倉敷工場における法令に準拠した排水設備の設計	水質規制に関わる申請、許可	目標14		1期工事は浄化槽（10人槽）のみ。申請準備中。	100%
	供給者監査の計画的な実施	計画46件	目標3		72件	100%



	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
研究開発本部					2030年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2030年：90品目	目標3		22品目	24%
	・スケールアップ検討	2030年：90件	目標7		31件	34%
	・全員ノー残業の実施	2030年：120回	目標7		48回	40%
	・学会・講習会への参加	2030年：150件	目標8		107件	85%
	・新技術開発の検討	2030年：30件	目標9		14件	47%
	・製法改良検討	2030年：30件	目標1 2		24件	80%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2030年：100%	目標1 4		1日異常あり	35%
プロセス開発研究所	・水質に関する勉強会の実施	2030年：10件	目標1 4		4件	40%
					2024年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2024年：9品目	目標3		7件	78%
	・スケールアップ検討	2024年：9件	目標7		13件	100%
	・全員ノー残業の実施	2024年：12回	目標7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2024年：8件	目標8		21回	100%
	・製法改良検討	2024年：3件	目標1 2		5件	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2024年：100%	目標1 4	合同で実施	1日異常あり	50%
基盤技術研究所	・水質に関する勉強会	2024年：1件	目標1 4	合同で実施	1件	100%
	・全員ノー残業の実施	2024年：12回	目標7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2024年：7件	目標8		10回	100%
	・新技術開発の検討	2024年：3件	目標9		2件	67%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2024年：100%	目標1 4	合同で実施	1日異常あり	50%
	・水質に関する勉強会	2024年：1件	目標1 4	合同で実施	1件	100%



管理本部 実践目標と結果

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
管理本部	エコシステムへの変革(DX)	ECRS業務改善 年末調整オンライン化	目標7	ECRSフレームワーク	2件の部署跨り業務のデータ化実施 web年末調整開始	100% 100%
	未来型オフィス実現	キャッシュレス推進 経費精算クラウド稼働	目標7	パーチェシングカード 経費バンク	導入完了、運用開始 XPクラウドワークシステムにて運用開始	100% 100%
	人材採用	新卒・中途 合計25名+α (製造16人、品管5人、研究3人、 営業1人、薬剤師)	目標8	薬剤師の増員 倉敷工場の要員確保	新卒16名採用(薬剤師2名) 中途3名採用(電験1名、品管2名)	100% 100%
	従業員のスキルアップ	研修実施(階層別、新人等) 多様な研修(DC教育,CSR教育など)	目標8		新人研修1回、階層別研修各2回、e-ラーニング1回 DC(確定拠出年金)教育、CSR教育	100% 100%
	BCP見直し	BCPの訓練実施 BCP記載内容更新	目標12	8月 実施予定 10月 改訂予定	BCP全社訓練12月実施 改訂終了	100% 100%
	法令遵守の徹底	CSRの推進	目標12	社内マニュアル更新	特定個人情報改訂	50%
		就業規則類の見直し更新	目標3	複数回の更新	全20規定類を改訂	100%
	社内活性	男性育休25%以上	目標3		8名中6名取得	100%
		有休推進(取得6日以上)	目標3		6日未満の人にアンケート実施、6日未満7.4%	93%
		女性活躍(従業員比率22%以上) (女性管理職2名以上)	目標3		女性比率24.6% 女性管理職3名	100%
		従業員同士が交流できる施策	目標3	サークル数の増加	新規サークル2件	100%
		健康経営優良法人認定	目標3	継続認定	継続認定	100%
		大規模設備投資の資金調達計画策定	目標3	倉敷新工場建設	シミュレーション実施	100%



営業本部 実践目標と結果

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
営業本部	CSR評価	1件	目標3	取引メーカー・商社の調査	実施	100%
	省エネ活動推進	2件	目標7 目標14	ヨウ素／Pd回収、物品グリーン調達	・ 消耗品のグリーン調達率：36% ・ ニッケル回収、ヨウ素回収難航、アセトニトリル回収不可	50%
	英語力強化 医薬品商社の機能強化	2件	目標8	・ 英語スキルの向上 ・ 医薬品原料ビジネスの拡大に向けた人材育成	・ 社内英語講習実施（15回） ・ TOEIC受験（4人）	100%
	新技術・新モダリティ・コア事業の導入	8件	目標9 目標12	・ フロー合成ニーズ調査 ・ 核酸、ADC、PROTACの情報収集 ・ 液晶材料の導入 ・ インドK社とのビジネスアライアンス ・ AcHAの新規用途提案 ・ Fujimat用途開発 ・ 海外企業とのビジネス構築 ・ 新たな重点顧客確立（C社、D社、E社）	・ フロー合成の製薬企業および同業CDMOの情報収集 ・ 中分子医薬品の取り組み情報収集の中で、環状ペプチド中間体、PROTAC中間体、ADC関連、核酸医薬関連のテーマ引合 ・ 液晶素材のサンプルワーク実施するも市場鈍化で中止 ・ インドK社との交渉するも市場にマッチせず白紙 ・ AcHAの毛髪保湿用途の提案（データ取得含む）しサンプルワーク中 ・ ST社との契約締結と具体的案件受領 ・ TIDES US参加および米国ベンチャーとの面談。具現化テーマ引合あるも失注 ・ 新規重点顧客として位置付けた企業からテーマ引合	100%
	上市品および開発後期品の導入とスケジューリング	7件	目標9	製品V、製品S6、製品S8、製品S1、製品T、製品F、製品O	製品V、製品S6、製品S1、製品F、製品Oの導入。 製品S8失注、製品Tの優先低下と新製品Gの受注選考中。	100%
	主力製品の安定供給	7件	目標12	製品A9、製品V 製品G、製品AM、製品C、製品XZ、製品XV	年初計画より大幅に数量ダウンのテーマもあったが、顧客状況を適宜確認し、関係部門と連携し円滑対応	100%
	重要原料の安定調達	4件	目標12	・ 側鎖原料調達 ・ 中国以外の原料ソース調査 ・ 各製薬企業のパイプラインからの原料探索と提案 ・ 主力製品の複数ソース化	・ 側鎖原料メーカー確定に向けてS社と定期協議継続し製品TはS社内製化、製品Mについて交渉中 ・ インド、欧州を中心に調査継続 ・ 製薬企業のパイプラインからの提案未実施 ・ 原料複数ソース化に向けた調査	75%